

河の子の組合山で、持続可能な森林経営の確立を目指して、低コスト植林の実証事業を行いました。

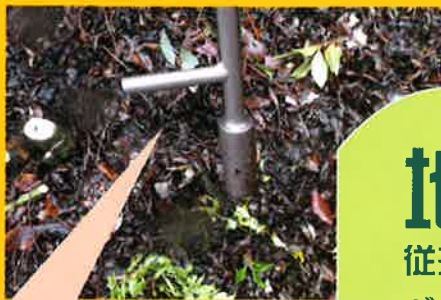
上浮穴郡林材業振興協議会の協力のもと、コンテナ苗木やセラミック苗木などを使った低コスト植林の実証事業を実施しました。

これらの苗木は、植林の能率を改善する為に開発、研究されているものです。従来の苗木のように大きな植え穴を掘る必要が無い為、大幅な能率向上が期待されています。

現在、林業技術センターなどで、生産性や植林コスト、活着率などの具体的な研究が進められています。

専用の

穴あけ器具を地面に突き刺し、苗木を植え付ける穴を作ります。



専用の穴開け棒

地

掘り等の

従来の苗木の植え付け穴に比べるととても小さな穴なので、はるかに速く穴を作れます。



セラミック苗木とは

素焼きの筒状の鉢で育てられた苗木

コンテナ苗木とは

細い筒状のプラスチックの鉢で育てられた苗木

いずれの苗木も、根元の部分が細長い形になっています。

セラミック苗木



植

え穴に苗木を差し込み、周りを足でしっかり押さえて植え付けます。



今後の課題

植え付けの能率が改善される反面、苗木の値段が高くなるので、造林事業全体でどのような改善ができるのか研究しています。